

※入札公告を必ず確認してください。(海老名市ホームページに掲載しています)

入札案件概要書 (工事)

契約番号 : 7190

件 名	市道 39 号線舗装改修工事 (その 2)	
履行場所	海老名市 杉久保南二丁目ほか 1 地内	
工 期	令和 8 年 3 月 30 日～令和 8 年 6 月 30 日 (93 日)	
工事の内容等	別紙 仕様書等 のとおり ○入札は期間全体の税抜金額	
予定価格	14,432,000 円 (税込)	13,120,000 円 (税抜)
最低制限価格	有り (事前算定型) 詳細は海老名市最低制限価格等取扱基準及び入札説明書等を参照してください。	
入札方法等	条件付一般競争入札 (電子入札)	
質疑 (仕様等に関する事項)	所定の書式により、FAX で受け付けます。 電子入札システムの機能は使用しないでください。	

参加条件	営業種目	130 ほ装 経審 - 点以上 - 点未満		○下請契約の請負代金の合計の額が5千万円（建築一式工事の場合は8千万円）以上となる場合には特定建設業の許可が必要です。 併せて、主任技術者に代えて監理技術者を配置すること。
	発注区分 詳細は入札公告で確認してください。	第 1 区分		第1・第2区分の入札に初めて参加する場合は、営業実態調査票及び認定書の写しを提出してください。
	その他の要件	告示日現在で社会保険（健康保険、厚生年金保険及び雇用保険）に加入していること。 ※法令に基づき社会保険適用を除外されている場合を除く		
	落札件数制限	あり （第1区分及び第2区分の同日開札の <u>工事</u> で、基本数 <u>1</u> 件まで） 詳細は入札説明書等を参照してください。		
配置技術者等の兼任について		本案件に配置する主任（監理）技術者及び現場代理人は、工事・コンサル・一般委託の区分を問わず同じ開札日の他の案件に配置できません。		
事前提出書類 （システム添付）		参加資格確認申請時に次のファイルを添付してください。 ファイルは一つにまとめてください。 ○告示日現在で社会保険（健康保険、厚生年金保険及び雇用保険）に加入していることを証する書類の写し。（次の（1）～（3）のいずれか） （1）経営規模等評価結果通知書・総合評定値通知書（経営事項審査）の写し <u>※経営事項審査の有効期限内の通知書を提出していれば提出不要</u> （2） <u>（同通知書発行後に社会保険に加入した場合）</u> 健康保険、厚生年金保険及び労働（雇用）保険料の領収書の写し （3） <u>（法令に基づき社会保険適用を除外されている場合）</u> 健康保険、厚生年金保険及び雇用保険の加入義務がないことの届出書		
入札時提出 （システム添付）		○入札金額積算内訳書 別添のエクセルファイル「入札金額積算内訳書（工事入札時システム添付）」をダウンロードして使用してください。 <u>システムへはPDF化して添付してください。</u>		
落札候補者が提出する書類 （FAX046-232-6574）		開札後、落札候補者は次の書類をF A Xで提出してください。 （落札候補者決定の翌開庁日午前10時まで。詳細は開札後FAXで通知します。） ○配置技術者等に関する書類 ○建設業許可の確認できる書類		



施工条件明示書（土木工事共通）

1 工事概要

発注者	海老名市		
工事件名	市道39号線舗装改修工事(その2)		
工事場所	海老名市 杉久保南二丁目ほか1 地内		
工事目的	本工事は、既存舗装の劣化を改修し、安全な交通網の確保と適切な維持管理を行うものです。		
工事概要	工事延長 L=143.6m 1 取壊し工 1式 1 舗装工 1式 1 区画線工 1式 1 仮設工 1式		
契約工期	令和8年3月30日 から 令和8年6月30日 まで		
事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 補助金事業	<input checked="" type="checkbox"/> 国庫	
		<input type="checkbox"/> 県費	
	<input type="checkbox"/> 市単独事業		
設計区分	<input checked="" type="checkbox"/> 単独積算		
	<input type="checkbox"/> 合算積算	工事	
		工事	

2 積算諸条件

主たる工種 : 舗装工事
施工地域・工事場所区分 : 市街地(DID補正)
契約保証の方法 : 発注者が金銭的保証を必要とする
施工パッケージの使用（一部使用含む） ☒ 有 ☐ 無
週休二日制確保工事該当の有無 ☐ 有 ☒ 無

【使用歩掛及び単価等】

<input checked="" type="checkbox"/> 土木工事標準積算基準書	適用年版：令和	7 年	7 月
<input checked="" type="checkbox"/> 諸経费率	適用年版：令和	7 年	7 月
<input type="checkbox"/> 下水道用設計標準歩掛表	適用年版：令和	年版	
<input checked="" type="checkbox"/> 土木工事資材等単価表	適用年版：令和	7 年	12 月
<input type="checkbox"/> 刊行物	適用年版：令和	年	月
<input type="checkbox"/> 特別調査	適用年版：令和	年	月
<input type="checkbox"/> 海老名市見積単価等	適用年版：令和	年度	
<input type="checkbox"/> その他（ ）	適用年版：令和	年	月

3 施工条件

【1】 工程関係	1	他工事による当工事の着手、完了時期の制約について	<input checked="" type="checkbox"/> 無 (他工事事件名等) <input type="checkbox"/> 有 (工期、内容等)
	2	当工事における施工時期の制約について	<input checked="" type="checkbox"/> 無 (制約を受ける施工内容等) <input type="checkbox"/> 有 (施工時期等)
	3	施工時間について	<input type="checkbox"/> 昼間施工 (その他特記事項) <input checked="" type="checkbox"/> 夜間施工 (一部含む)
	4	官公庁ほか関係機関との調整、協議について	<input type="checkbox"/> 無 (関係機関名) <input checked="" type="checkbox"/> 有 相鉄バス株式会社
	5	工事着手前に地上物件(家屋調査)、地下埋設物、埋蔵文化財の事前事後調査、又は、移設等の制約について	<input checked="" type="checkbox"/> 無 (対象内容) <input type="checkbox"/> 有
	※ただし、施工上必要となる地下埋設物調査については、施工計画書に明示し、必要な措置を講じること。また、書面により報告すること。		
【2】 用地関係	6	設計工程上見込んでいる休日日数等作業不能日数について	<input checked="" type="checkbox"/> 無 (詳細内容、作業不能日数等) <input type="checkbox"/> 有
	1	工事用地等の未処理部分について(用地買収状況について)	<input checked="" type="checkbox"/> 無 (用地未取得部分等) <input type="checkbox"/> 有 (取得予定年月日等)
	2	工事用仮設道路、資材置場等の用地の借用について	<input checked="" type="checkbox"/> 無 (使用場所、期間、借用条件、復旧方法等) <input type="checkbox"/> 有
【3】 公害関係	3	使用後の復旧条件	<input checked="" type="checkbox"/> 無 (復旧内容等) <input type="checkbox"/> 有
	1	公害防止のため、施工方法、建設機械、作業時間等の制限について	<input type="checkbox"/> 無 (建設機械と制限内容) 騒音規制法・振動規制法 <input checked="" type="checkbox"/> 有 (作業時間と制限内容)
	2	水替期等の処理で特別な対策等の必要性について	<input checked="" type="checkbox"/> 無 (対策内容) <input type="checkbox"/> 有

【4】 安全対策 関係	1	安全施設等の指定について（有毒ガス及び酸素欠乏等の対策として換気設備の設置等の含む）	<input checked="" type="checkbox"/> 無 （指定内容） <input type="checkbox"/> 有
	2	鉄道、ガス、電気等の施設と近接する工事の施工方法、作業時間の制限	<input type="checkbox"/> 無 （対象内容） <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 鉄道 <input checked="" type="checkbox"/> ガス <input type="checkbox"/> 電気 <input checked="" type="checkbox"/> 電話 <input checked="" type="checkbox"/> 上水道 <input checked="" type="checkbox"/> 下水道 <input type="checkbox"/> その他（ ）
	3	交通誘導警備員の配置について	<input type="checkbox"/> 無 （1）交通誘導員の配置 工事内容に応じて2名または6名の交通誘導警備員を配置 <input checked="" type="checkbox"/> 有 （2）配置期間 現場実施期間中
【5】 工事用道 路関係	1	一般道路を搬入路として使用する場合の制約について	<input checked="" type="checkbox"/> 無 （搬入経路・使用期間等の制限） <input type="checkbox"/> 有 （搬入中・後の処置）
	2	仮設道路を設置する場合の制約について	<input checked="" type="checkbox"/> 無 （仮設道路に関する安全施設） <input type="checkbox"/> 有 （工事後の措置、維持補修内容）
【6】 建設副産 物関係	1	建設発生土が発生する場合について	<input checked="" type="checkbox"/> 無 （建設発生土の処分先） 名称： 住所： <input type="checkbox"/> 有
	2	建設副産物及び建設廃棄物が発生する場合について	<input type="checkbox"/> 無 （対象内容） <input checked="" type="checkbox"/> コンクリート塊 <input checked="" type="checkbox"/> アスファルト・コンクリート塊 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 建設発生木材 <input type="checkbox"/> 建設発生木材（伐木・除根材） <input checked="" type="checkbox"/> 建設汚泥 <input type="checkbox"/> 建設混合廃棄物 <input type="checkbox"/> 金属くず <input type="checkbox"/> その他（ ）
			※建設廃材指定登録工場に限る。工場側の指示を遵守すること
※この工事が「資源の有効な利用の促進に関する法律（平成3年法律第48号）」の規定より再生資源利用促進計画の作成を要する工事である場合は、受注者は、工事の施工前に発注者に再生資源利用計画を提出し、その内容を説明しなければならず、工事の完成後に発注者から請求があったときは、その実施状況を発注者に報告しなければならない。			
【7】 工事支障 物件	1	工事支障物件について（地下埋設物含む）	<input type="checkbox"/> 無 （対象内容） <input checked="" type="checkbox"/> 電柱 <input checked="" type="checkbox"/> 上水道 <input checked="" type="checkbox"/> 下水道 <input checked="" type="checkbox"/> 電話 <input checked="" type="checkbox"/> ガス管 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 架空電線 <input checked="" type="checkbox"/> 標識・看板 <input type="checkbox"/> その他（ ）
【8】 薬液注入 関係	1	薬液注入について	<input checked="" type="checkbox"/> 無 （対象内容） 工法区分： 使用材料： <input type="checkbox"/> 有 施工範囲、削孔数： 注入量： 施工管理基準等：

【9】 その他	1	工事現場発生品がある場合について	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有	(品名、数量等)
	2	支給材料及び貸与品がある場合について	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有	(品名、数量等)
	3	特殊・特定使用材料を使用する場合及び資材搬入等に制限がある場合について	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有	(品名、数量、搬入制限等)
	4	発生売却品評価額(スクラップ等)を計上している場合について	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有	(品名等)
	5	設計条件について	① 歩行者、車両の通行に支障のないように作業計画を立て周辺地域に配慮すること。 ② 関係自治会、周辺家屋への工事の周知を行い、トラブルのないように努めること ③ 構造物・境界杭については、適切な管理を行い、トラブルのないように努めること。 ④ 工事箇所は、工業地内であるため、施工時間等調整すること。また、安全管理に留意すること。 ⑤ 工事施工中の路上駐車については十分注意すること。 ⑥ 道路縦断・横断または、人孔(空気弁、バタフライ弁、集水柵等)の高さを測量し、高さ調整が必要となる場合は、事前に市担当に報告すること。 なお、調整の時間を考慮し、工程管理を行うこと。	

※明示されない施工条件、明示事項が不明確な場合は、契約書等の関連する条項に基づき甲・乙協議により決定すること。

工 事 説 明 書

(特 記 仕 様 書)

第 1 条 (目的・趣旨)

本業務は、既設舗装の損傷が進行していることから、これらの改修を行い、安全な交通を確保し、適切な維持管理を行うことを目的とする。

第2条 (工事概要)

工事件名 : 市道 39 号線舗装改修工事 (その2)
工事箇所 : 海老名市 杉久保南二丁目ほか 1 地内
市道名称 : 海老名市道 39 号線
事業区分 : 補助事業

第3条 (工 期)

- (1) 契約工期は、令和 8 年 3 月 30 日から令和 8 年 6 月 30 日までとする。
- (2) 主たる工種における現場作業は、令和 8 年 5 月末までに完了すること。

第4条 (施工監理)

- (1) 本工事は、海老名市土木工事共通仕様書及び土木工事施工管理基準に基づき施工すること。
 - ・アスファルト舗装 (施工面積 799 m²)
 - コア抜き 3 個
 - ※採取位置等については、原則的に監督職員の指示の下で行うこと。
 - 密度測定 3 個 (1,000 m²未満 3 個 別途 1,000 m²に 1 個)
- (2) 原則として、アスベストを原料としていない建材を用いて施工すること
また、使用材料については、アスベストを原材料としていない旨の証明書をメーカーより提出させ、監督職員の確認を得ること。
- (3) 上記に無き内容については、監督職員と協議すること。また、施工計画書に明記し、監督職員の承諾を得ること。

第5条 (施工管理<出来高管理・工期及び工程管理・品質管理>)

- (1) 契約業者は、「海老名市土木工事共通仕様書」及び「土木工事施工管理基準」に基づき施工すること。
- (2) 写真管理において、電子黒板を使用する場合は、必要以上に電子黒板を大きくし、不可視部分を作らないこと。
 - ※ 写真に対して 1/8 以下とし、必要に応じて透過すること。
- (3) 上記に無き内容については、発注者と協議すること。

第6条 (安全管理)

- (1) 安全管理
 - ① 交通安全対策については、警察及び道路管理者の許可条件を厳守すること。

また、夜間における照明設備・休日・作業休止日における安全柵、歩行者の通路の確保等には万全な対策を講じるとともに、看板設置やライトアップ等により注意喚起を図ること。

② 当該路線は近隣小学校の通学路となっているため、児童の安全確保に留意すること。

③ 防護具は常に正しく着用し、ヘルメットのアゴ紐は必ず結んでおくこと。

また、作業中は原則として禁煙とし、歩行中の禁煙及び啞え煙草は厳禁とする。歩行中の喫煙及び啞え煙草は厳禁とする。

(2)安全訓練等

工事各工種を開始するに際し、元請社員及び協力業者を交え、施工計画書等を用いて、安全施工等について十分に検討すること。

(3)気象条件に関すること

次の内容を含めた安全対策を具体的な内容を施工計画書に明記すること。

- ① 現場特性の把握、 ② 中止・再開基準の設定、 ③ 迅速に退避するための対応
- ④ 日々の安全管理の徹底、 ⑤ 現場の点検方法、対応方法及び体制

なお中止基準は以下を標準とし、更に現場特性に応じた基準を設定すること。

- ① 当該工事等箇所に強風注意報・暴風警報が発表された場合
- ② 当該工事等箇所に竜巻注意情報が発表された場合
- ③ 労働安全衛生法及び労働安全衛生規則に該当する場合

(4)地震や台風時等の状況報告に関すること

海老名市において、次の場合は速やかに現場点検を実施し、都市技及び海老名市へ報告すること。

- ① 震度4以上の地震が発生した場合、② 台風の予想進路内に入った場合
- ③ 強風注意報が発令された場合、④ 大雨注意報が発令された場合

第7条（工程管理）

契約者の勝手な都合により近隣住民及び道路利用者に十分な周知をしない、又は、監督職員や占有企業者等に負荷を掛けたりするような工程管理をしてはならない。

第8条（仮設備関係）

工事用電力や用水等は、すべて契約業者の負担とする。なお、河川や近隣公園の水等を勝手に使用しないこと。

第9条（環境対策関係）

(1)海老名環境マネジメント

- ① 周辺住民の生活環境への影響を考慮し、騒音・振動の発生を最小限に抑えること。
- ② 低騒音・低振動型作業機械を使用すること。なお、写真管理をすること。
- ③ 排ガス規制に適合した作業機械・車両(ディーゼルエンジン)を使用すること。

なお、写真管理をすること。

- ④ 周辺住民の生活を妨げない作業時間帯を設定すること。
- ⑤ 工事用作業機械・車両の待機中はアイドリングをしない

(2) その他

不法・違法無線局（不法パーソナル無線）を設置したトラック・ダンプカー等を、工事現場に立ち入らせないこと

第 10 条（工事内容等を示す看板（標識）の設置）

- (1) 契約業者は、工事現場に広報板等、別に定めのあるもの他（道路工事現場における表示施設等の設置基準）、工事件名、工事場所、担当部課名、契約業者の住所及び連絡先等を記載した表示板を一般通行人の見やすい場所に設置する。
- (2) 看板による工事予告、迂回のお願に関する看板等は、工事着手日の原則 1 週間以上前から行うこと。

第 11 条（工事お知らせ文及び説明）

契約業者は、工事お知らせ文を監督職員と協力し作成すること。

また、工事着手前及び工事中は、工事内容を現場周辺住民や地権者に周知し、協力を求めるために必要な措置を講じなければならない。

第 12 条（建設副産物関係）

- (1) アスファルト殻、コンクリート殻（無筋・有筋）、路盤廃材の処分は、建設リサイクル法等を遵守し、再生工場に搬入すること。
- (2) 詳細については、施工計画書に明記し、監督職員の承諾を得ること。

第 13 条（現場代理人・主任（監理）技術者）

- (1) 現場代理人及び主任（監理）技術者は、本業務の遂行に必要な知識を有すること。
- (2) 現場代理人及び主任（監理）技術者は、必要に応じて、地域住民等と円滑なコミュニケーションを取るよう努めなければならない。
- (3) 現場代理人及び主任（監理）技術者は、自身や自身が務める会社の品格を問われるような苦情を出さないよう努めなければならない。

第 14 条（工事全般）

- (1) 本線は路線バスの運行ルートであるため、路線バスの営業中は原則、片側交互通行として車両通行止めとしないこと。アスファルト表層工は、車道センターに打ち継ぎ目を作らないようにする目的で夜間作業としているが、夜間作業は、最終バスの通過後から始バスの通過までとする（過年度工事にて実績あり、適切な工程管理により実施可能）

- (2) 路線バスの運行に大きな影響を与えないこと。
特に、今回の施工範囲内には「中原バス停」があるため、事前にバス会社と調整し、バス利用者に不便を掛けないようにすること。
- (3) 緊急時を除き、事前に住民周知した交通形態を現場判断で変えてはならない。
- (4) 施工範囲については、着工前に監督職員と現地立会いを行い、確認を行うこと。なお、現場施工中においても必要に応じて現地立会いを行うこと。
- (5) 現場着手前に工事支障物の有無を確認し、監督職員に報告すること。
- (6) 近接民地の住民とは車両等の出入りについて良く調整すること。
- (7) 民地に資材や工事道具等を置かないこと。また、民地や民地の擁壁等に資材や工事道具等を置いたり立て掛けたりしないこと。
- (8) 全工事工程において、5cm以上の段差を生じさせないこと。
- (9) 既設舗装取壊し及び舗装の敷均しの際は、骨材等の飛散防止を行なうこと。
また、乳剤の散布時には飛散防止の養生を確実にすること。
なお、アスファルト敷設の際、ダンプトラック等の工事車両は乳剤を付着させたまま、既設道路を走り、舗装面を汚さないように対策を講じること。
- (10) コア抜き後の穴埋めはアスファルトモルタル等の材料を使用し、コアを抜いた箇所が脆弱部とならないよう努めること。なお、当該作業も品質管理や出来栄評価の一部とする。
- (11) 施工後の担当課による下検査を受けるにあたり、事前に出来高書類(舗装面積求積図・構造物の出来高測定図等)を監督職員に提出すること。なお、下検査は、契約業者が行う社内検査後に行うものとする。
- (12) 関連法令の遵守の上、公共事業という認識を常に持ち、責務を果たすこと。

第 15 条（境界関係）

官民境界を工事着手前に確認するとともに、境界杭・境界鋸等の境界を示すものを 工事で損傷しないよう十分注意すること。

第 16 条（第三者の被害の補償）

第三者の被害の補償について、受注者の工事施工上の不手際による被害（例：通行者、車両へ損害等…）は、すべて受注者の負担とする。

また、軽易な一般補償、工事中の応急措置、クローラーによる道路施設等の損傷並びに設計上の影響幅を越える部分の道路損傷復旧費についても、すべて受注者の負担とする。家屋、その他の工作物に与えた損害が日常生活や営業等に著しく支障をきたす場合は、監督職員の指示により応急処置を講ずること。

第17条（関係官公庁その他への手続き）

契約業者は、業務を実施するため、関係官公庁等に対する諸手続きが必要な場合は、速やかに行うものとする。

第18条（土地への立入り等）

契約業者は、業務を実施するために国有地、公有地又は私有地に立ち入る場合は、関係者と十分な協調を保ち、監理業務が円滑に進捗するように努めなければならない。なお、やむを得ない理由により、現地への立ち入りが不可能となった場合には、直ちに監督職員に報告し、協議しなければならない。

第19条（守秘義務）

契約業者は、業務の処理上で知り得た秘密を他人に漏らしてはならない。

第20条（履行報告義務）

契約業者は、契約内容に関わらず、着手前と毎月末に履行報告書を提出し、業務進捗状況を報告するものとする。

なお、様式は指定様式とし、実施比較表を添付の上、進捗状況が詳細に認出来る様記載するものとする。

第21条（創意等実績報告書）

工事提出書類の1つである創意工夫等実績報告書を提出する場合、本業務においては、下記の事項に注意すること。

- (1) 地域美化活動等を創意等実績報告とする場合は、専ら実施計画書の提出から工事完成日までの期間行うこと。現場稼働時のみの作業は、これに該当しない。
- (2) 新技術の活用（CAD・施工管理ソフト・測量機器等）については、発注者及び契約者双方にメリットがあるものし、従来工法でも十分な成果が得られると監督職員が判断したものは、これに該当しない。

第22条（法定外の労災保険の加入）

本業務において、契約業者は法定外労働災害補償制度（法定外の労災保険）に加入しなければならない。また、契約業者は保険契約を締結したときは、発注者にその証券等を提示しなければならない。

第23条（その他）

本業務を進める上で疑義が生じた場合は、速やかに監督職員と協議の上、実施するものとする。また、協議については書面（打合せ記録簿）で行うものとする。

また、本特記仕様書及び別紙施工条件明示書に定めのない疑義事項については監督職員と協議のうえ、履行するものとする。

なお、契約業者は監督職員職員の許可なく、本特記仕様書及び別紙施工条件明示書に定めた事項から逸れて作業してはならない。仮に違反があった場合は、最終的な工事評点に影響が及ぶことを受注者は承知すること。

舗装版切断時に発生する濁水の処理に係る特記仕様書

(趣旨)

第1条 この特記仕様書は、海老名市土木工事共通仕様書等に定めるもののほか、舗装版切断時に発生する濁水の処理に関し必要な事項を定めるものとする。

(適用)

第2条 海老名市が発注する工事で、舗装版の切断作業に適用する。

(処理方法)

第3条 舗装版切断作業時に発生した濁水については、産業廃棄物の汚泥として処理すること。

(条件)

第4条 受注者は、産業廃棄物の汚泥の処分業許可を得ている業者と委託契約を締結しなければならないものとする。

2 受注者は、自ら運搬を行う場合を除き、産業廃棄物の汚泥の収集運搬業許可を得ている業者と委託契約を締結しなければならないものとする。

(提出書類等)

第5条 受注者は、施工計画書に舗装版切断時に発生する濁水の収集・運搬・処分に
関する計画書、受注者と処分業者とで締結した委託契約書の写し及び処分業者の許可証の写しを添付すること。また、受注者が濁水の収集運搬を委託した場合は、受注者と収集運搬業者とで締結した委託契約書の写し及び収集運搬業者の許可証の写しを添付すること。

2 受注者は、産業廃棄物管理票（紙マニフェスト）又は電子マニフェストにより、適正に処理されていることを確かめるとともに、監督員に提示しなければならない。

(その他)

第6条 この特記仕様書に疑義が生じた場合は、別途監督員と協議するものとする。

令和 7 年 度

市道 39 号線舗装改修工事（その 2）設計書

番 号	R6以降、7-7、単価7-12	施 工 年 度	令和7年度
名 称	市道39号線舗装改修工事（その2）		
場 所	海老名市 杉久保南二丁目ほか1 地内		
施 工 主	海老名市	<div>概要</div> <div>工事延長 L=143.6m W=5.17～7.12m</div> <div>1 取り壊し工 1.0式</div> <div>1 舗装工 1.0式</div> <div>切削オーバーレイ工(切削深7cm超え12cm以下、t=5cm) A=799㎡</div> <div>表層工(改質A s 密粒Ⅱ型、t=5cm) A=799㎡</div> <div>1 区画線工 1.0式</div> <div>1 仮設工 1.0式</div>	
設 計 区 分			
路 線 名	市道39号線		
期 間	令和 8年 3月 30日 ～ 令和 8年 6月 30日		
日 数	93 日		
部 課 名	まちづくり部道路管理課		
積 算 担 当	維持補修係		
合 計 額			
価 格			
消費 税 相 当 額			

内 訳 書

工 事 区 分	工 種	種 別	細 別	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
費	舗装工事							場所区分:市街地(DID補正)
		取り壊し工		式	1			A- 1号内訳書
		舗装工		式	1			A- 2号内訳書
		区画線工		式	1			A- 3号内訳書
		仮設工		式	1			A- 4号内訳書
	直接工事費計							
	共通仮設費計							
		運搬費		式	1			A- 5号内訳書
		共通仮設費		式	1			
	純工事費							
		現場管理費		式	1			
工事原価								
		一般管理費	(契約保証費含む)	式	1			発注者が金銭的保証を必要とする

[illegible]

工事区分

I

種

種

別

細

別

單

数

量

單

僵

金

額

摘

要

工事価格

消費税相当額

合計額

間 接 費 明 細 書

設 計 条 件					
工 種	舗装工事	工事日数(内冬日数)	93日/2日	共通仮設費対象外額	
場所区分	市街地(DID補正)	支給品費		現場管理費対象外額	
前払い率	35%超え	処分費		一般管理費対象外額	
契約保証区分	発注者が金銭的保証を必要とする	処分除外費		支給共仮費対象外額	
積雪寒冷地域	なし				

算 出 基 礎

※補正係数を乗じる場合は係数を乗じて、小数3位四捨五入2位止めとする。

$$\begin{aligned} \text{共 通 仮 設 費} &= \text{対象額} \times \text{率} \\ &= \quad \times \quad \% \\ &= \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \text{対象額} &= \text{直接工事費} + \text{支給品費} + \text{事業損失防止施設費} - \text{共通仮設費対象外額} - \text{支給共仮費対象外額} + \text{準備費処分費} - \text{処分除外費} \\ &= \quad + \quad + \quad - \quad - \quad + \quad - \\ &= \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \text{率} &= \text{対象額による率} \times \text{地域補正係数} \\ &= \quad \% \times \\ &= \quad \% \times \rightarrow \therefore \% \end{aligned}$$

$$\text{対象額による率} = \quad \%$$

$$\begin{aligned} \text{現 場 管 理 費} &= \text{対象額} \times \text{率} \\ &= \quad \times \quad \% \\ &= \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \text{対象額} &= \text{直接工事費} + \text{共通仮設費} + \text{支給品費} + \text{支給品費(現)} - \text{現場管理費対象外額} - \text{支給現場費対象外額} - \text{処分除外費} \\ &= \quad + \quad + \quad + \quad - \quad - \quad - \\ &= \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \text{率} &= \text{対象額による率} \times \text{地域補正係数} \\ &= \quad \% \times \\ &= \quad \% \times \rightarrow \therefore \% \end{aligned}$$

$$\text{対象額による率} = \quad \%$$

間 接 費 明 細 書

算 出 基 礎

一 般 管 理 費

= 対象額×率+対象額×契約保証補正值－調整額

= × % + × %－

=

対象額

= 工事原価－一般管理費対象外額－処分除外費＋一般管理補正額

= - - +

=

率

= 対象額による率×前払補正

= %×

= %× → ∴ %

対象額による率

= %

[illegible]

[illegible]

A- 3号				1式当たり				内訳書	
区画線工									
名 称		規 格		単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	
区画線工 溶融式(手動) 昼間 豪雪 補正無		実線 15cm 制約無,排水性舗装でない,供用区間		m	445			C- 6号単価表	
区画線工 溶融式(手動) 昼間 豪雪 補正無		実線 15cm 制約無,排水性舗装でない,供用区間		m	135			C- 7号単価表	
区画線工 溶融式(手動) 昼間 豪雪 補正無		実線 15cm 制約無,排水性舗装でない,供用区間		m	233			C- 8号単価表	
区画線工 溶融式(手動) 昼間 豪雪 補正無		破線 15cm 制約無,排水性舗装でない,供用区間		m	8			C- 9号単価表	
区画線工 溶融式(手動) 昼間 豪雪 補正無		破線 15cm 制約無,排水性舗装でない,供用区間		m	7			C- 10号単価表	
区画線工 溶融式(手動) 昼間 豪雪 補正無		セブラ 30cm 制約無,排水性舗装でない,供用区間		m	6			C- 11号単価表	
区画線工 溶融式(手動) 昼間 豪雪 補正無		セブラ 30cm 制約無,排水性舗装でない,供用区間		m	5			C- 12号単価表	
区画線工 溶融式(手動) 夜間 豪雪 補正無		セブラ 45cm 制約無,排水性舗装でない,供用区間		m	69			C- 13号単価表	
区画線工 溶融式(手動) 夜間 豪雪 補正無		セブラ 45cm 制約無,排水性舗装でない,供用区間		m	57			C- 14号単価表	
区画線工 溶融式(手動) 昼間 豪雪 補正無		矢印・記号・文字15cm換算 制約無,排水性舗装でない,供用区間		m	154			C- 15号単価表	
区画線工 溶融式(手動) 昼間 豪雪 補正無		矢印・記号・文字15cm換算 制約無,排水性舗装でない,供用区間		m	23			C- 16号単価表	
区画線工 溶融式(手動) 昼間 豪雪 補正無		矢印・記号・文字15cm換算 制約無,排水性舗装でない,供用区間		m	104			C- 17号単価表	
計									

[illegible]

A- 5号		運搬費					1式当たり	内訳書
名 称		規 格		単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
路面切削機(ホーフル式・廃材積込装置付)運搬		2.0m、L=10km, 片道		台	4			C- 22号単価表
計								

B- 1号		段差擦り付け工 夜間					100㎡当たり	明細書					
名	称	規	格	単	位	数	量	単	価	金	額	摘	要
殻運搬 夜間		舗装版破碎、機械積込(小規模土工) 、有り、3.5km以下		m ³		2.5						C- 18号単価表	
廃材処理料(北部地区)		A S 殻		m ³		2.5							
廃材処理料(北部地区)		夜間処理費		m ³		2.5							
計													
1 ㎡当たり													

C- 1号		舗装版切断					1m当たり	単価表					
		アスファルト舗装版、15cm以下											
名	称	規	格	単	位	数	量	単	価	金	額	摘	要
舗装版切断		アスファルト舗装版、15cm以下		m		1						施工P-01	
		舗装版種別:アスファルト舗装版 アスファルト舗装版厚:15cm以下											
計													

C-	1号単価表(施工P-01)	積算単位:m	標準単価:
	舗装版切断／アスファルト舗装版、15cm以下		
	舗装版種別:アスファルト舗装版、アスファルト舗装版厚:15cm以下		

	名	称	／	規	格	単 位	構 成 比	単価（東京）	単 価	摘 要
機械K							15.05			
K 1	コンクリートカッタ	ハキューム式(超低騒音型)	湿式／切削深20cm級	プレート	径 φ 56cm	供/日	10.24			
K 2										
K 3										
K 4										
K 5										
労務R							58.43			
R 1	特殊作業員					人	19.96			
R 2	土木一般世話役					人	10.88			
R 3	普通作業員					人	8.92			
R 4										
R 5										
材料Z							26.52			
Z 1	コンクリートカッタ(プレート)	／径18インチ				枚	22.39			
Z 2	カソリン／レギュラー,	スタント渡し				ℓ	2.81			
Z 3										
Z 4										
Z 5										
市場S										

P' =

$$\times \left\{ \left(\frac{10.24}{100} \times \frac{15.05}{10.24} \right) + \left(\frac{19.96}{100} \times \frac{58.43}{19.96+10.88+8.92} + \frac{10.88}{100} \times \frac{58.43}{19.96+10.88+8.92} + \frac{8.92}{100} \times \frac{58.43}{19.96+10.88+8.92} \right) + \left(\frac{22.39}{100} \times \frac{26.52}{22.39+2.81} + \frac{2.81}{100} \times \frac{26.52}{22.39+2.81} \right) + \frac{100-15.05-58.43-26.52}{100} \right\} =$$

C- 2号

1式当たり

单価表

舗装版切断濁水処理工
北部地区

[illegible]

[illegible]

C-	3号単価表(施工P-01)	積算単位: m ³	標準単価:
	殻運搬(路面切削) / 有り、4.5km以下		
	DID区間の有無: 有り、運搬距離: 4.5km以下		

	名	称	/	規	格	単 位	構 成 比	単価(東京)	単 価	摘 要
機械K							40.84			
K 1	ダンプトラック	オンロード・ディーゼル	/	10t積級+良好:タイヤ損耗費及び補修費		供/日	40.84			
K 2										
K 3										
K 4										
K 5										
労務R							45.78			
R 1	運転手(一般)					人	45.78			
R 2										
R 3										
R 4										
R 5										
材料Z							13.38			
Z 1	軽油	/	ハトール給油			ℓ	13.38			
Z 2										
Z 3										
Z 4										
Z 5										
市場S										

P' =

×

{

(

40.84

100

×

)

×

40.84

40.84

+

(

45.78

100

×

)

×

45.78

45.78

+

(

13.38

100

×

)

×

13.38

13.38

+

100-40.84-45.78-13.38

100

}

=

C- 4号		切削ホーレイ工(即日一層舗設)					100㎡当たり	単価表
段差すりつけ設置撤去、切削深7cm超え12cm以下、t=5cm								
名 称		規 格		単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
土木一般世話役				人				
特殊作業員				人				
普通作業員				人				
再生アスファルト混合物		再生粗粒度アスコン(20)		t	12.573			
アスファルト乳剤		PK-4 タックコート用		ℓ	43			
路面切削機運転費（一層舗設、7cmを超え12cm以下）		ホイール式、切削幅2.0m×23cm、廃材積込装置付、排対型		日	0.156			
路面清掃車運転費（一層舗設、7cmを超え12cm以下）		ブラシ・四輪式、路面切削工事用、ホッパ容量1.5㎡		日	0.156			
アスファルトフィニッシュ運転費（一層舗設、7cmを超え12cm以下）		ホイール型、舗装幅2.3～6.0m、排対型(2014年規制)		日	0.156			
ロータリー運転費（一層舗設、7cmを超え12cm以下）		マカダム・超低騒音型、運転質量10t 締固め幅2.1m、排対型		日	0.156			
タイヤロータリー運転費（一層舗設、7cmを超え12cm以下）		普通型・超低騒音型、運転質量13～14t、排対型(2014年規制)		日	0.156			
諸雑費				式	1			
計								
1㎡当たり								

C- 5号

1 m²当たり

单価表

表層（車道・路肩部） 夜間

3. 0m超、実数入力、密粒度アスコン(20)、タックコート PK-4

[illegible]

C-	5号単価表(施工P-01)	積算単位: m ²	標準単価: 入力数量: 50mm
	表層 (車道・路肩部) / 3.0m超、実数入力、密粒度アスコン(20)、タックコート PK-4		
	平均幅員: 3.0m超、1層当り平均仕上り厚: 実数入力、材料: 密粒度アスコン(20)、瀝青材料種類: タックコート PK-4		

	名 称 / 規 格	単 位	構 成 比	単価 (東京)	単 価	摘 要
機械 K			1.44			
K 1	アスファルトフィニッシャ賃料 / ホール型、舗装幅2.3～6.0m	日	0.92			
K 2	タイヤローラ(普通型)賃料 / 質量 13～14 t (排出ガス対策型含む)	日	0.14			
K 3	ロートローラ(マカダム)賃料 / 質量 10～12 t (排出ガス対策型含む)	日	0.14			
K 4						
K 5						
労務 R			10.68			
R 1	普通作業員 / 夜間	人	3.84			
R 2	運転手(特殊) / 夜間	人	2.16			
R 3	特殊作業員 / 夜間	人	2.13			
R 4	土木一般世話役 / 夜間	人	0.77			
R 5						
材料 Z			87.88			
Z 1	改質アスファルト混合物 / 改質As 密粒 II型(20)DS3000	t	84.70			
Z 2	アスファルト乳剤 / PK-4 タックコート用	ℓ	2.57			
Z 3	軽 油 / ハトロール給油	ℓ	0.51			
Z 4						
Z 5						
市場 S						

P' =

$$\begin{aligned} &\times \left\{ \left(\frac{0.92}{100} \times \frac{1.44}{0.92+0.14+0.14} + \frac{0.14}{100} \times \frac{1.44}{0.92+0.14+0.14} + \frac{0.14}{100} \times \frac{1.44}{0.92+0.14+0.14} \right) \right. \\ &+ \left(\frac{3.84}{100} \times \frac{10.68}{3.84+2.16+2.13+0.77} + \frac{2.16}{100} \times \frac{10.68}{3.84+2.16+2.13+0.77} + \frac{2.13}{100} \times \frac{10.68}{3.84+2.16+2.13+0.77} + \frac{0.77}{100} \times \frac{10.68}{3.84+2.16+2.13+0.77} \right) \\ &+ \left(\frac{84.70}{100} \times \frac{87.88}{84.70+2.57+0.51} + \frac{2.57}{100} \times \frac{87.88}{84.70+2.57+0.51} + \frac{0.51}{100} \times \frac{87.88}{84.70+2.57+0.51} \right) \\ &\left. + \frac{100-1.44-10.68-87.88}{100} \right\} = \end{aligned}$$

C- 6号

1,000m 当たり

单価表

区画線工 溶融式(手動) 昼間 豪雪補正無

実線 15cm 制約無,排水性舗装でない,供用区間

[illegible]

C- 9号

1,000m 当たり

单価表

区画線工 溶融式(手動) 昼間 豪雪補正無

破線 15cm 制約無,排水性舗装でない,供用区間

[illegible]

[illegible]

C- 11号

1,000m 当たり

单価表

区画線工 溶融式(手動) 昼間 豪雪補正無

セブラ 30cm 制約無,排水性舗装でない,供用区間

[illegible]

C- 13号

1,000m 当たり

单価表

区画線工 溶融式(手動) 夜間 豪雪補正無

セブラ 45cm 制約無,排水性舗装でない,供用区間

[illegible]

[illegible]

C- 15号

1,000m 当たり

单価表

区画線工 溶融式(手動) 昼間 豪雪補正無

矢印・記号・文字15cm換算 制約無,排水性舗装でない,供用区間

[illegible]

[illegible]

C- 18号

1m³当たり

单価表

殼運搬 夜間

舗装版破碎、機械積込(小規模土工)、有り、3.5km以下

[illegible]

C- 18号単価表(施工P-01)	積算単位:m ³	標準単価:
殻運搬／舗装版破碎、機械積込(小規模土工)、有り、4.5km以下		
殻発生作業:舗装版破碎、積込工法区分:機械積込(小規模土工)、DID区間の有無:有り、運搬距離:4.5km以下		

	名 称	規 格	単 位	構 成 比	単価(東京)	単 価	摘 要
機械K				20.25			
K 1	タンポトラック オンロード・デイスル／2t積級+良好:タイヤ損耗費及び補修費		供/日	20.25			
K 2							
K 3							
K 4							
K 5							
労務R				71.03			
R 1	運転手(一般)／夜間		人	71.03			
R 2							
R 3							
R 4							
R 5							
材料Z				8.72			
Z 1	軽 油／パトロール給油		ℓ	8.72			
Z 2							
Z 3							
Z 4							
Z 5							
市場S							

P' =

×

{

(

20.25

100

×

)

×

20.25

20.25

+

(

71.03

100

×

)

×

71.03

71.03

+

(

8.72

100

×

)

×

8.72

8.72

+

100-20.25-71.03-8.72

100

}

=

C- 19号

1現場当たり

单価表

交通誘導警備員 B

[illegible]

C- 20号

1現場当たり

单価表

交通誘導警備員 B

[illegible]

C- 21号

1現場当たり

单価表

交通誘導警備員B 夜間

[illegible]

C- 22号

1台当たり

单価表

路面切削機(ホイル式・廃材積込装置付)運搬

2.0m、L=10km, 片道

[illegible]

市道39号線舗装改修工事（その2）		材料費(30)			材料調書全体明細表	
(単位:円)						
名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	備 考
トラフィックペイント 溶融型	3種1号 ビーズ`15～18 白	kg	310.486			
トラフィックペイント 溶融型	3種1号 ビーズ`15～18 黄 鉛・フリー	kg	92.682			
ガラスビーズ`	0.106～0.850mm	kg	17.71			
接着用プライマー	区画線用	kg	17.71			
改質アスファルト混合物	改質As 密粒 II型(20)DS3000	t	100.648			
再生アスファルト混合物	再生粗粒度アスコン(20)	t	100.458			
ガソリン	レギュラー, スタント`渡し	ℓ	4.573			
軽 油	パトロール給油	ℓ	680.257			
アスファルト乳剤	PK-4 タックコート用	ℓ	687.533			
コンクリートカッタ(プレート`)	径18インチ	枚	0.082			
材料費計						

[illegible]

数 量 計 算 書

工 種	計 算 式	単位	数 量	備 考
○取壊し工 舗装版切断 ・ t=15cm以下	5.17 + 5.23 + 18.00 + 6.16 = 34.56	m	34	34.56
舗装版切断濁水処理工 ・ 北部地区 t=10cm		式	1	—
殻運搬（路面切削）	799.3 × 0.10	m3	79	79.93
廃材処理料（As殻）	79.9	m3	79	79.9
○舗装工 切削オーバーレイ工 ・ 再生粗粒度As (20) ・ t=5cm、TC ・ 段差擦り付け有	○舗装数量計算書(1)より 799.3	m3	799	799.3
表層工 ・ 改質As密粒Ⅱ型(20) ・ t=5cm、TC	○舗装数量計算書(2)より 799.3	m3	799	799.3
○区画線工 区画線 ・ 溶融式(手動) ・ 昼間作業	○道路標示の文字記号等規格及び換算より W15黄色・実線 W15白色・実線 W15破線 W30白色・セブラ W45白色・セブラ 矢印記号文字等黄色 矢印記号文字等白色	m m m m m m m	135 233 7 5 57 23 104	135.3 233.1 7.0 5.2 57.0 23.7 104.8
○雑工 段差すり付け工	○段差擦り付け工計算書より 撤去・処分（夜間）	m2	199	199

舗装数量計算書(1)

測 点				・切削オーバーレイエ 段差すりつけ設置撤去、切削深7cm超え12cm以下、再生粗粒度As・t=50mm				
				距 離	幅	平均幅員	面 積	備 考
(市道39号線)								
NO	0	+	0.000	0.000	5.17	—	—	
NO	1	+	0.000	20.000	5.23	5.20	104.00	
NO	2	+	0.000	20.000	5.23	5.23	104.60	
NO	3	+	0.000	20.000	5.23	5.23	104.60	
NO	4	+	0.000	20.000	5.23	5.23	104.60	
NO	5	+	0.000	20.000	5.52	5.38	107.50	
NO	5	+	15.500	15.500	5.90	5.71	88.51	
NO	5	+	17.100	1.600	6.28	6.09	9.74	
NO	6	+	0.000	2.900	6.48	6.38	18.50	
NO	6	+	13.700	13.700	7.12	6.80	93.16	
NO	7	+	0.000	6.300	6.18	6.65	41.90	
NO	7	+	3.600	3.600	6.16	6.17	22.21	END
合 計							799.3	

舗装数量計算書(2)

測 点				・舗装工 改質Ⅱ型アスファルト(20) t=5cm、タックコート				
				距 離	幅	平均幅員	面 積	備 考
(市道39号線)								
NO	0	+	0.000	0.000	5.17	—	—	
NO	1	+	0.000	20.000	5.23	5.20	104.00	
NO	2	+	0.000	20.000	5.23	5.23	104.60	
NO	3	+	0.000	20.000	5.23	5.23	104.60	
NO	4	+	0.000	20.000	5.23	5.23	104.60	
NO	5	+	0.000	20.000	5.52	5.38	107.50	
NO	5	+	15.500	15.500	5.90	5.71	88.51	
NO	5	+	17.100	1.600	6.28	6.09	9.74	
NO	6	+	0.000	2.900	6.48	6.38	18.50	
NO	6	+	13.700	13.700	7.12	6.80	93.16	
NO	7	+	0.000	6.300	6.18	6.65	41.90	
NO	7	+	3.600	3.600	6.16	6.17	22.21	END
合 計							799.3	

道路標示の文字記号等規格及び換算

(単位:m)

区 画 線 計 算 書								備 考
<div> <div></div> <div></div> </div>	W15 黄色・実線	W15 白色・実線	W15 破線	W30 ゼブラ	W45 ゼブラ	矢印記号 文字等 黄色	矢印記号 文字等 白色	
中心線	135.3							
外側線		103.0	7.0					上り
〃		130.1						下り
停止線				5.2				2箇所
40						23.7		23.7 × 1箇所
◇							39.6	19.8 × 2箇所
速度をおとせ							65.2	65.2 × 1箇所
横断歩道線					57.0			
	135.3 ≒ 135	233.1 ≒ 233	7.0 ≒ 7	5.2 ≒ 5	57.0 ≒ 57	23.7 ≒ 23	104.8 ≒ 104	※矢印・文字・記号については、所要材料長を計上

1日未満で完了する作業の積算について(Ⅰ-12-①-1)

	単位	設計数量 (Xi)	1日あたり 標準作業量 (Di)
実線 W=15cm	m	368	1000
破線 W=15cm	m	7	900
セブラ W=30cm	m	5	525
セブラ W=45cm	m	57	450
矢印・記号・文字	m	127	400
消去(削り式)	m		300

$$\Sigma (Xi/Di) = 368 / 1000 + 7 / 900 + 5 / 525 + 57 / 450 + 127 / 400 = 0.829 < 1.00$$

$$\alpha \Sigma (Xi/Di) = \alpha \times (368 / 1000 + 7 / 900 + 5 / 525 + 57 / 450 + 127 / 400) = 1.00$$

$$\alpha = 1.206 \div 1.21$$

修正作業日当たり標準作業

$$\text{実線 } W=15\text{cm} \quad D'1 = \alpha \times X1 = 1.21 \times 368 = 445 \quad \text{m/日}$$

$$\text{破線 } W=15\text{cm} \quad D'2 = \alpha \times X2 = 1.21 \times 7 = 8 \quad \text{m/日}$$

$$\text{セブラ } W=30\text{cm} \quad D'3 = \alpha \times X3 = 1.21 \times 5 = 6 \quad \text{m/日}$$

$$\text{セブラ } W=45\text{cm} \quad D'4 = \alpha \times X4 = 1.21 \times 57 = 69 \quad \text{m/日}$$

$$\text{矢印・記号・文字} \quad D'5 = \alpha \times X4 = 1.21 \times 127 = 154 \quad \text{m/日}$$

$$\text{消去(削り式)} \quad D'6 = \alpha \times X4 = 1.21 \times 0 = 0 \quad \text{m/日}$$

$$\text{実線 } W=15\text{cm} : \quad \text{労務費は } \underline{445} \text{ m} \quad \text{材料費は } \underline{368} \text{ m}$$

(設計数量)

$$\text{破線 } W=15\text{cm} : \quad \text{労務費は } \underline{8} \text{ m} \quad \text{材料費は } \underline{7} \text{ m}$$

(設計数量)

$$\text{セブラ } W=30\text{cm} : \quad \text{労務費は } \underline{6} \text{ m} \quad \text{材料費は } \underline{5} \text{ m}$$

(設計数量)

$$\text{セブラ } W=45\text{cm} : \quad \text{労務費は } \underline{69} \text{ m} \quad \text{材料費は } \underline{57} \text{ m}$$

(設計数量)

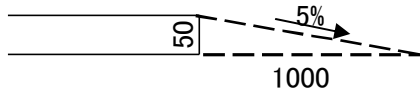
$$\text{矢印・記号・文字} : \quad \text{労務費は } \underline{154} \text{ m} \quad \text{材料費は } \underline{127} \text{ m}$$

(設計数量)

段差摺付舗装数量集計表

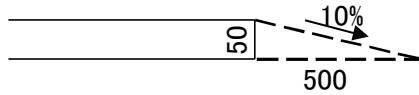
1 段差摺付

(1)横断方向

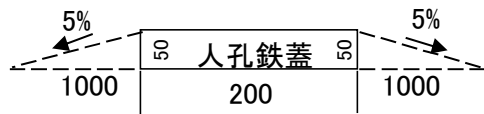


※アスファルトにて摺付とする。

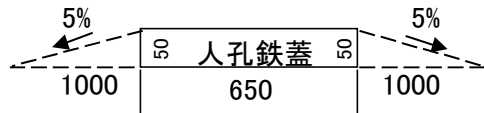
(2)縦断方向



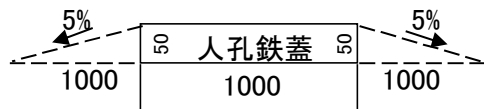
(3)人孔部分



1箇所あたり $1.100^2 \pi - 0.100^2 \pi \doteq 3.77(\text{m}^2)$



1箇所あたり $1.325^2 \pi - 0.325^2 \pi \doteq 5.18(\text{m}^2)$



1箇所あたり $1.500^2 \pi - 0.500^2 \pi \doteq 6.28(\text{m}^2)$

	種別	延長(m)	算式A=	面積 (m ²)
(1)	横断方向・夜間	45.40	平面図(1)+平面図(2) (5.1 + 40.3) × 1.0m	45.0
(2)	縦断方向・夜間	128.25	平面図(1)+平面図(2) (127.0 + 129.5) × 0.5m	128.0

	種別	箇所	算式	面積 (m ²)
(3)	人孔部分 φ 650	5	5.18 × 5	26

汚水 5

運搬処分	夜間	(1)～(3)	199 m ²
合 計 面 積			199 m ²

計画平面図(1) S=1/250



始 点
(No.0+0.0)

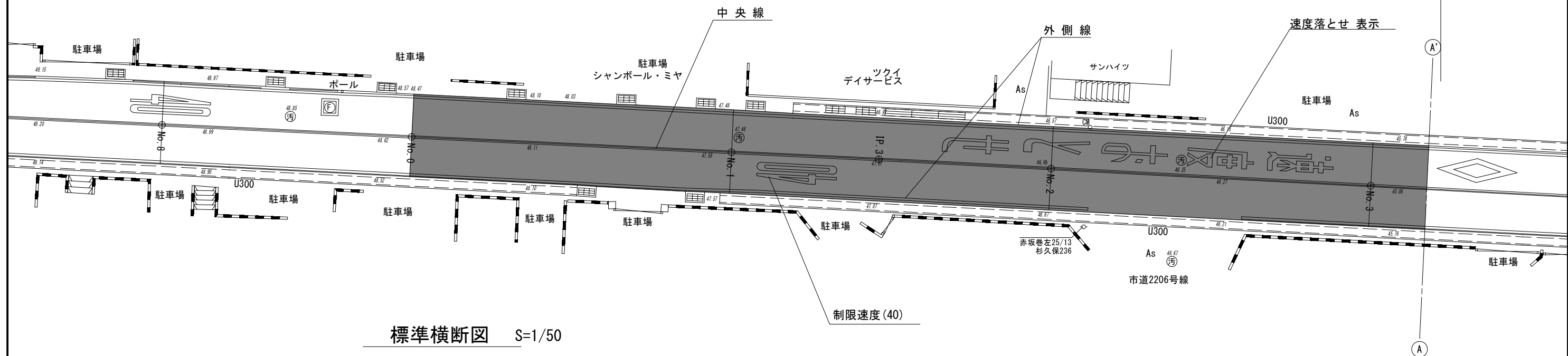
工事延長 L=143.6m 工事幅員 W=5.17~7.12m

舗装版切断工 L=34.5m 舗装版切断濁水処理工 N=1式 殻運搬(路面切削) V=79.9 m³

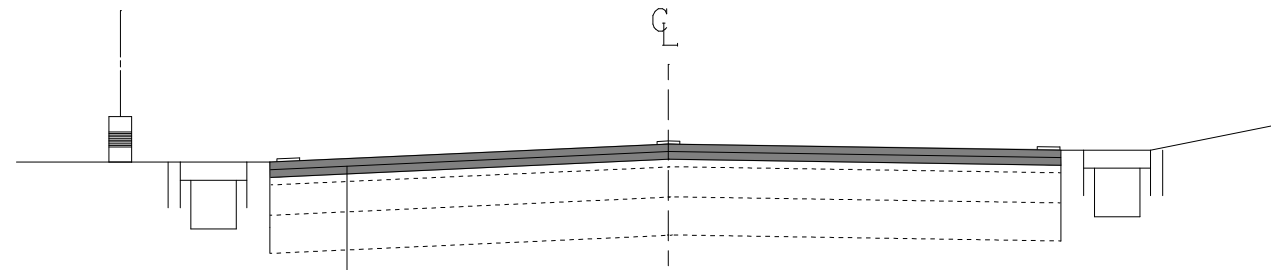
切削オーバーレイ工(切削深さ t=10cm、再生粗粒度As t=5cm、段差擦り付け有) A=799.3m² 表層工(改質As密粒Ⅱ型 t=5cm) A=799.3m²

区画線工 黄15cm L=135.3m、白15cm L=233.1m、破線 白15cm L=7.0m、白30cmセブラ L=5.2m、白45cmゼブラ L=57.0m

区画線工 矢印記号文字等 黄色 L=23.7m、白色 L=104.8m、仮設工 N=1式



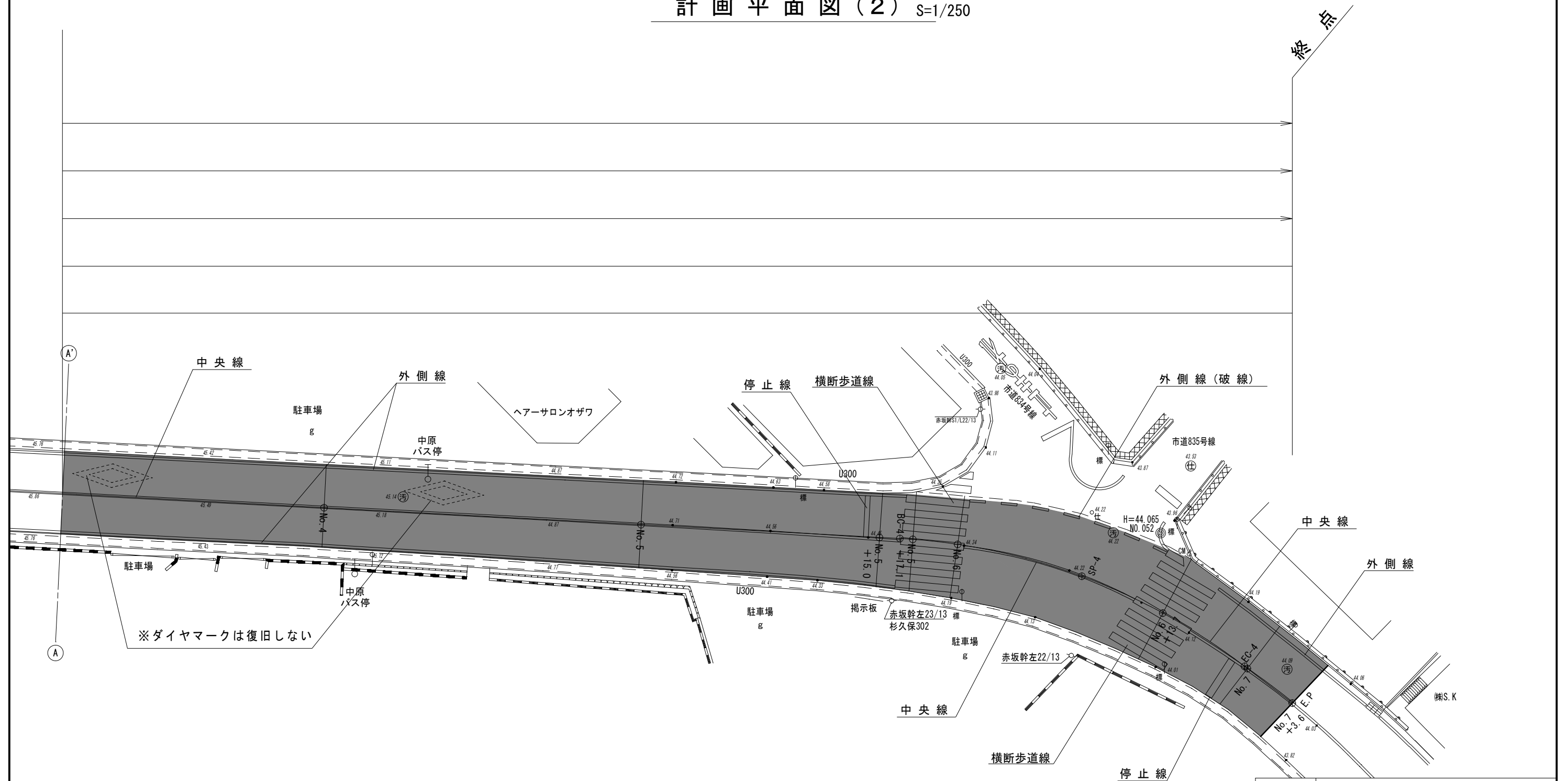
標準横断面図 S=1/50



表層(改質アスファルト密粒Ⅱ型) t=50mm
基層(再生粗粒度アスファルト) t=50mm

工 事 名	市道 39 号線舗装改修工事(その2)		
路 線 名	市道 39 号線		
工事場所	海老名市 杉久保南二丁目ほか1 地内		
図 面 名	計画平面図(1)	縮 尺	図 示
図面番号	全 2 葉 の 内 第 1 号		
神奈川県海老名市役所			

計 画 平 面 図 (2) S=1/250



工 事 名	市 道 39 号 線 舗 装 改 修 工 事 (そ の 2)		
路 線 名	市 道 39 号 線		
工 事 場 所	海 老 名 市 杉 久 保 南 二 丁 目 ほ か 1 地 内		
図 面 名	計 画 平 面 図 (2)	縮 尺	図 示
図面番号	全 2 葉 の 内 第 2 号		
神 奈 川 県 海 老 名 市 役 所			